
DarkBlueに抱かれて

わかめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Dark Blue に抱かれて

【Nコード】

N6260D

【作者名】

わかめ

【あらすじ】

あいつらの前から消えたのは、私が世界を守らなくちゃイケないから 何事にも恐れずに立ち向かって行かなきゃイケないからだ 　ただ、それだけ 愛しい人よ、元気で居てね珠玉のSFファンタジーラブストーリー。

Prologue (前書き)

R指定がある訳ではないので皆さんご覧になってくれると嬉しいです。

Prologue

貴方から逃げなきゃ

何かいいことが

あつたかな？

逃げないとイケないって

衝動的に思ったのは

貴方が嫌いだったから

なんかじゃなくて

大好きだったからなの

いつでも迎えに来て？

今だって、死ぬ程

好きだから。

ぞぞん

ばしゃん

ざぶん

ちょうど、朝日が地平線から顔を出した頃、私は目をゆっくりと開けた。

寝起きでまだ温かい体はまだ起きたくないと言ったまま。

さざ波の優しい音色を聞きボケーとしていた。

今は何時だろうか

不意に思い、手をぐっと手をのばすと何かがカツンと手にぶつかったのが分かった。

その方向に視線をやると、携帯が机の上に乗っていて朝日に照らされていた。

メール受信の青いランプがチカチカと光っているのが分かり、直ぐさま携帯を手を取った。

今は、5時頃。

朝日はもう、だいぶ高く上がっただろう。

部屋には波の音と携帯のボタンの押す音しかない。

きっとメールは“アイツ”からの連絡なのだろう。
大体の予想がつく。

柔らかいマットレスから体をゆっくりと起こす。

あいつらには、恩があるからしっかりと返さなきゃイケないのは分かっている。

だけど、もう私はあそこには戻れない。

やらなきゃイケない事があるから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6260d/>

DarkBlueに抱かれて

2010年10月25日01時28分発行